

やすらぎ

第25号

平成26年1月1日発行

岐阜市民病院 代表電話 058-251-1101 ホームページ <http://gmhosp.jp/>

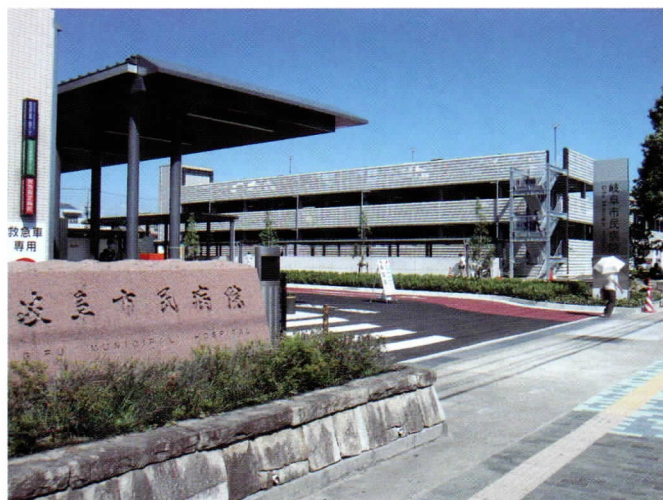


理念

心にひびく医療の実践

基本方針

- 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療を行います。
- 安全で信頼されるチーム医療を行います。
- 地域の医療機関と連携し、患者さん中心の継続した医療を行います。
- 地域の中核病院として、最新かつ高度な医療を提供できるよう努めます。
- 職員が生き生きと働くことができる環境づくりに努めます。



年頭のご挨拶

病院長 富田 栄一



新年あけましておめでとうございませう。市民病院は『心にひびく医療の実践』を基本理念に、地域の中核病院として、患者さんの権利を尊重した心温まる医療の提供に努めています。

医療のさらなる質向上を図るためには、病院自ら日々その改善に努めていくことが必要です。さらに、中立・公平な立場にある第三者が病院の活動状況を評価し、その結果明らかになった課題について改善に取り組んでいくことも重要です。

市民病院は、第三者機関である「公益財団法人日本医療機能評価機構」が実施する「病院機能評価」を平成十四年度に初めて受審し、以来五年ごとにその認定を更新しています。昨年八月には、「患者中心の医療の推進」、「良質な医療の実践」、「理念達成に向けた組織運営」にかかる八十八項目について、新たな認定の仕組みに基づく審査を受け、指摘された点については、現在も継続的に改善を行っています。

また、来院者にとってより利用しやすい病院機能確保するため、市民病

院改築整備事業を進めてまいりました。平成二十三年十二月の西診療棟の完成に続き、一昨年十月には玄関棟、昨年五月には玄関ロータリーが完成し、雨に濡れることなく乗降できるようになりました。続く九月には、エレベータを装備した二層三段の立体駐車場（百五十三台収容）、十二月末には、院内北側駐車場が完成し、駐車台数は従来より百台ほど増え、三百十八台が駐車可能となりました。長期間にわたり、来院者の方々に大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで持ちまして、ようやく工事が完了いたしました。

一方、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、より精密にがん放射線治療を行える装置（高精度放射線治療装置）を導入いたしました。この装置を用いて本年中に強度変調放射線治療（IMRT）を開始することになっておりますので、きっと皆さんのお役に立てることと思います。

また、昨年十月より女性外来診察医を増やし、女性専用のフロア（レディースフロア）を充実いたしました。女性特有の疾患や悩みなど、お気軽に受診していただければと思います。

今後も皆さんのご期待に応えられるよう、時代の変化に対応した、より良い病院づくりに努めてまいります。

最新の高精度放射線治療装置での治療が始まります

中央放射線部



本年四月より稼働する高精度放射線治療装置（ノバリス Tx）を紹介いたします。

皆さんは放射線治療をご存知でしょうか？

放射線治療は、手術・化学療法とともに、がん治療の三本柱の一角を担っています。治療の対象はほぼ全てのがんで、その治療効果は放射線がよく効くがんに対しては、手術や化学療法に匹敵するものがあります。

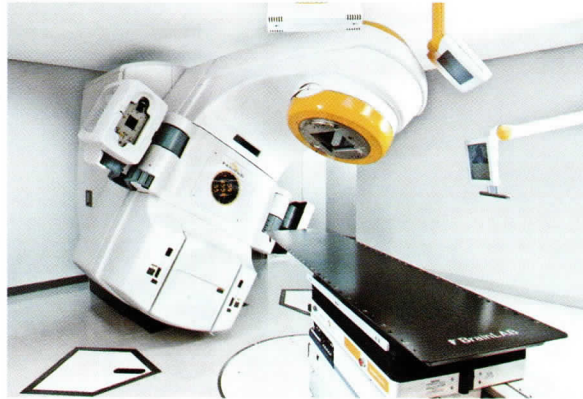
今回、新たに導入されるノバリス Txの特徴は従来の装置に比べて高精度な治療を行うことが可能で、エックス線装置とCT装置を搭載していま

す。高精度とは、限りなく病巣だけに放射線を当て、正常組織に当たる放射線を減らすことです。

現在当院で行われている一般的な照射治療に加えて、次の①から④の治療を行うことができます。

① 定位的放射線治療（SRS/SRT）

俗にピンポイント照射といわれる治療法で、その名の通り、ピンポイント（点）への治療です。特に小さい病巣



ノバリス Tx

に対して、通常よりはるかに多い放射線を多方向から一点に集中して照射治療します。

② 画像誘導放射線治療（IGRT）

搭載されているエックス線装置やCT装置を使用し、病巣の位置を同定します。治療時の姿勢の微妙な違いで病巣の位置がずれてしまうような場合に、位置のずれを修正してから病巣へ確実に放射線を当てるのが可能です。

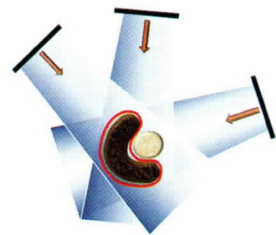
③ 強度変調放射線治療（IMRT）

病巣の近くに放射線による副作用が出やすい臓器がある場合、多方向から放射線の強さを調節しながら当てることで、周囲の正常臓器への放射線被ばく量を従来の放射線治療よりも少なくでき、病巣に当てる放射線の照射量を増やして治療効果を上げることが可能です。

④ 呼吸同期照射治療

呼吸による動きが大きい病巣に対し、呼吸のタイミングに合わせて放射線を当てたり、止めたりして病巣へ正確に放射線を照射し、正常組織への被ばく量を最小限に減らします。

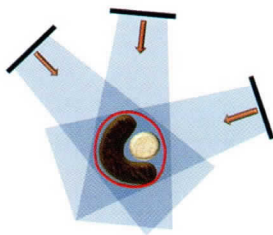
強度変調放射線治療（IMRT）



放射線の強さを調節しながら当て、正常臓器の副作用を減らし、病巣を治療。

IMRT概念図

一般的な照射治療



● 正常臓器
● 病巣
○ 高線量域

放射線治療の特徴は「切らずに治す」ことで、臓器の機能、形態を温存でき、身体的負担が少なく、高齢者や合併症を持った患者さんでも受けられる治療です。

放射線治療を受けられる方へ

がん放射線療法看護認定看護師 竹中 三奈子



放射線治療のゴールは予定通り治療が終了することです。放射線治療室では初診時から看護師が同席し不安や疑問などにお答えしています。また毎回治療時に体調の変化について確認を行い症状に対するアドバイスをさせていただきます。

治療を行う上で個人差はありますが副作用の出現があります。場合によっては治療を休止することもあります。しかし、日常生活の注意点を守ることによって、副作用や苦痛の軽減につながります。そのためには治療を受ける方はもちろんのこと、その御家族の方の協力も必要となります。患者さんや家族の方の声を聞きながら、予定された治療が終了できるよう心身共にサポートさせていただきます。共にゴールを目指しましょう。

かかりつけ医との 連携医療提供体制について

地域連携部

医療の進歩により現在は、がん全体の五年生存率は五割を超え、多くのがんが治る時代となりました。心筋梗塞や脳卒中など以前は死亡率が高かった病気も、治療ができるようになりまし

た。また、糖尿病、高血圧、高脂血症などさまざまな生活習慣病も上手にコントロールできるようになってきました。その結果、多くの病気をもちながら元気に過ごされるご高齢の患者さんが増えていきます。このような患者さんには特にかかりつけ医が重要となります。

皆さんは風邪をひいたときに受診される医院、診療所、クリニックなどにかかりつけ医をお持ちでしょうか？

以前は、病院を受診すると、ずっと同じ病院で診ることが多く、病院とかかりつけ医が連携して患者さんを診ることはあまりありませんでしたが、地域医療支援病院である当院は、かかりつけ医と緊密な協力体制をとって皆さんの健康を守ることに努めています。

かかりつけ医は、患者さんに変化があった場合は、最適の病院、専門診療科を紹介します。かかりつけ医からの

受診依頼はFAXなどで病院の地域連携部に届き、地域連携部では、専門診療科に受診を予約します。患者さんが受診されると病院で専門医による検査が行われ、がんに対しては、手術や抗がん剤、放射線治療など、心筋梗塞にはカテーテル治療やバイパス手術などの専門的な治療が行われます。

そして治療後、症状が安定されたら、再びかかりつけ医に診ていただくことをお勧めしています。病気によっては、かかりつけ医とともに、間隔を空けて病院の専門医が診ていくこともあります。このような治療提供体制をご理解いただき、上手に病気の治療を受けていただきますようお願いいたします。

薬の適正使用の推進

薬剤部



薬剤師は薬の専門家として、日頃から、薬の適正使用の推進に努めております。薬の適正使用とは、使用方法が正しいこと、薬の量が年齢、体重により過量あるいは過少になっていないこと、休薬期間が守られていること、悪い飲み合わせでないこと等ですが、それ以外に、患者さん一人一人に薬を解毒する（薬の効果を減弱する）肝臓の

機能、薬を身体の外に排泄する腎臓の機能を評価して、適正な投与量であること、また、患者さんに副作用が起っていないことを確認することも重要です。

当薬剤部では、昨年六月から、すべての処方せんに腎機能を評価するクレアチニンクリアランス（Cr）を表示しました。これによりすべての処方に対して、腎機能に応じた調節が必要な患者さんへの薬の適正な投与量を容易に確認できるようになりました。その結果、より適切に薬を患者さんにお渡しできるようになりました。肝機能につきましても、順次行ってまいります。

また、昨年四月から、病棟に薬剤師が常駐し、すべての入院患者さんに対して薬の適正使用の推進に努めており、安心な治療を提供しております。

栄養士の仕事と 選択食について

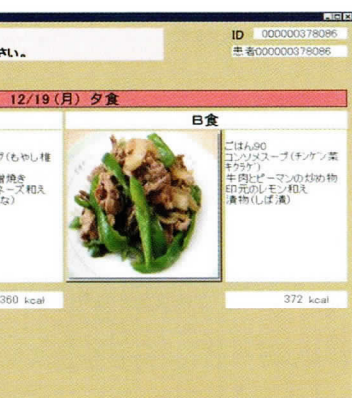
栄養管理室



病院給食は治療の一環と言われています。そのためには「安全安心な給食を提供すること」「適切な栄養管理を行うこと」が必須となります。体調不良等により食欲が低下した状態で食事の量が進まない時には、患者さんの好

みをお聞きし、栄養を補助する食品を食べていただき栄養状態の改善・低下予防の援助を行います。

また、治療食として制約のある給食を少しでもおいしく楽しんでいただくために二種類のおかずから食べたいメニューを選んでいただく選択食を行っています。対象となる食事は、常食・妊産婦食・学童食・エネルギーコントロール食・塩分制限食です。各病棟に設置された選択食タッチパネルから給食献立をみていただき、四日後のメニューを選んでいただくことができます。ぜひご利用ください。



選択食タッチパネルの画面

今後医療スタッフの一員として患者さんの栄養サポートに取り組んでまいります。

女性外来を紹介しします



女性フロア

当院女性外来では担当女性医師が四名となり、女性ならではの診療が進められています。身体面や精神面で悩むことを抱えている女性の方、不調を感じるけれども受診するべきか迷っている女性のために、各専門診療科（内科、外科、産婦人科）の医師が交替で診療に携わっています。診療の内容によつては一般診療科への紹介もさせていただきます。

また、本年一月からは診療にヨガも取り入れます。ヨガ講師でもある齋藤医師は、西洋医学の知識と伝統的なヨガの知識を融合し、身体と心のみな

らず、スピリチュアルな面も含めた「ホリスティック・ヘルス（全体的な健康）」を目指しています。ヨガ診療の詳細は、予約時に女性外来受付でお尋ねください。

ヨガ体験からの女性外来受診

第二、第四水曜日（午後四時～午後五時）のヨガを体験（一回）した結果で、女性外来受診の予約をしていただいても構いません。女性外来受付で詳細説明をさせていただきます。



ヨガ体験のようす



市民病院のシンボルマークが決まりました

市民病院の理念や基本方針をアピールし、より親しみを持っていただく目的で、シンボルマークの募集を行いました。全国各地より三百以上の作品をご応募いただきました。素晴らしい作品ばかりのため選考に時間がかかりましたが、昨年十一月にようやく決定いたしました。



岐阜市民病院シンボルマーク

このシンボルマークは、岐阜市民病院のユニシャルである『G』をモチーフにデザインされており、全体で「心にひびく医療の実践」をイメージすると共に、市民病院が未来に向かって飛躍する様子が描かれています。今後ともご愛顧いただけますようお願いいたします。

編集後記

読者のみなさん「やすらぎ」第25号が完成しました。本号では年頭のご挨拶、高精度放射線治療装置の紹介、かかりつけ医について、薬の適正使用について、栄養士の仕事と選択食について、女性外来の紹介、シンボルマークについてを掲載いたしました。

その他に、現在、岐阜商工会議所の「月報」に当院の医師が健康情報を毎月提供しております。機会がありましたら、一度ご覧ください。

編集部一同

外来診療のご案内

●診療科目・・・内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

●休診日

土・日・休日と12月29日～1月3日

*詳細はホームページでも紹介しています。

